



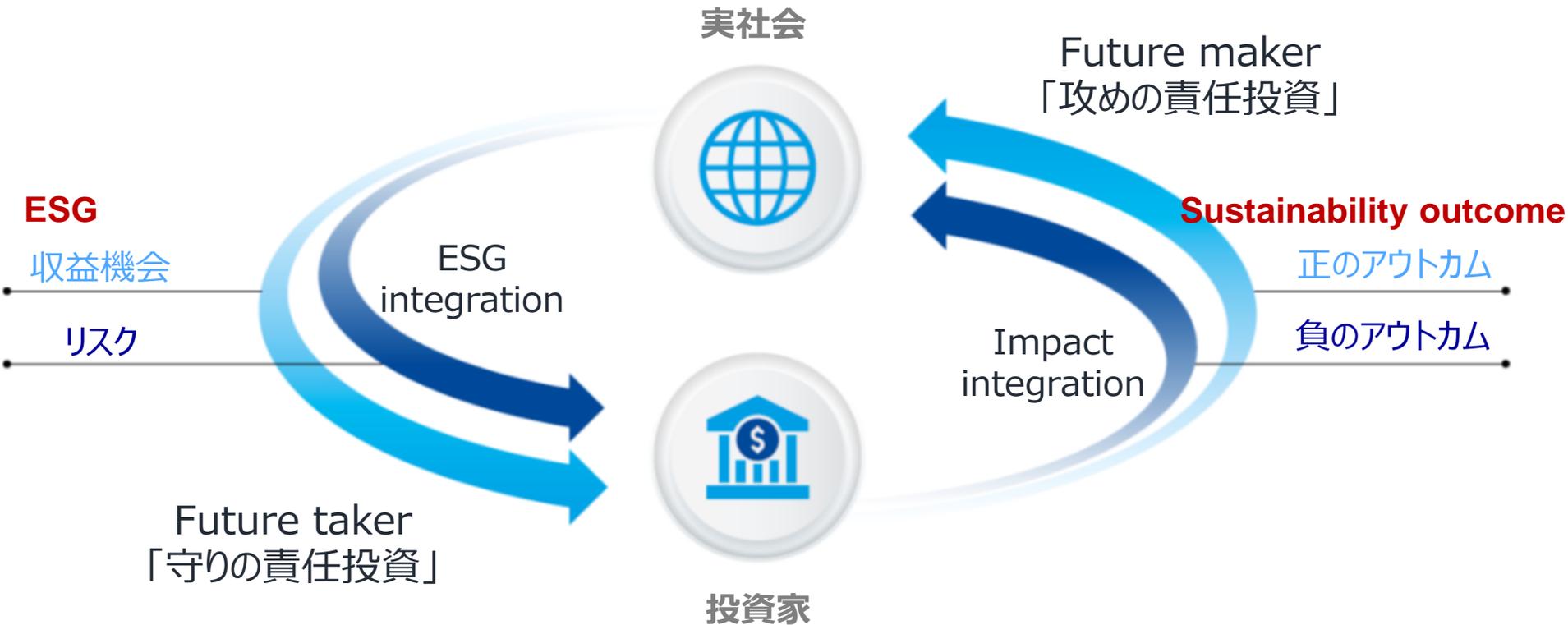
責任投資の進化と深化

— Progression Pathways Frameworkの導入に向けて —

2024年3月

PRI（国連責任投資原則）理事 / 日本生命保険 執行役員
木村 武

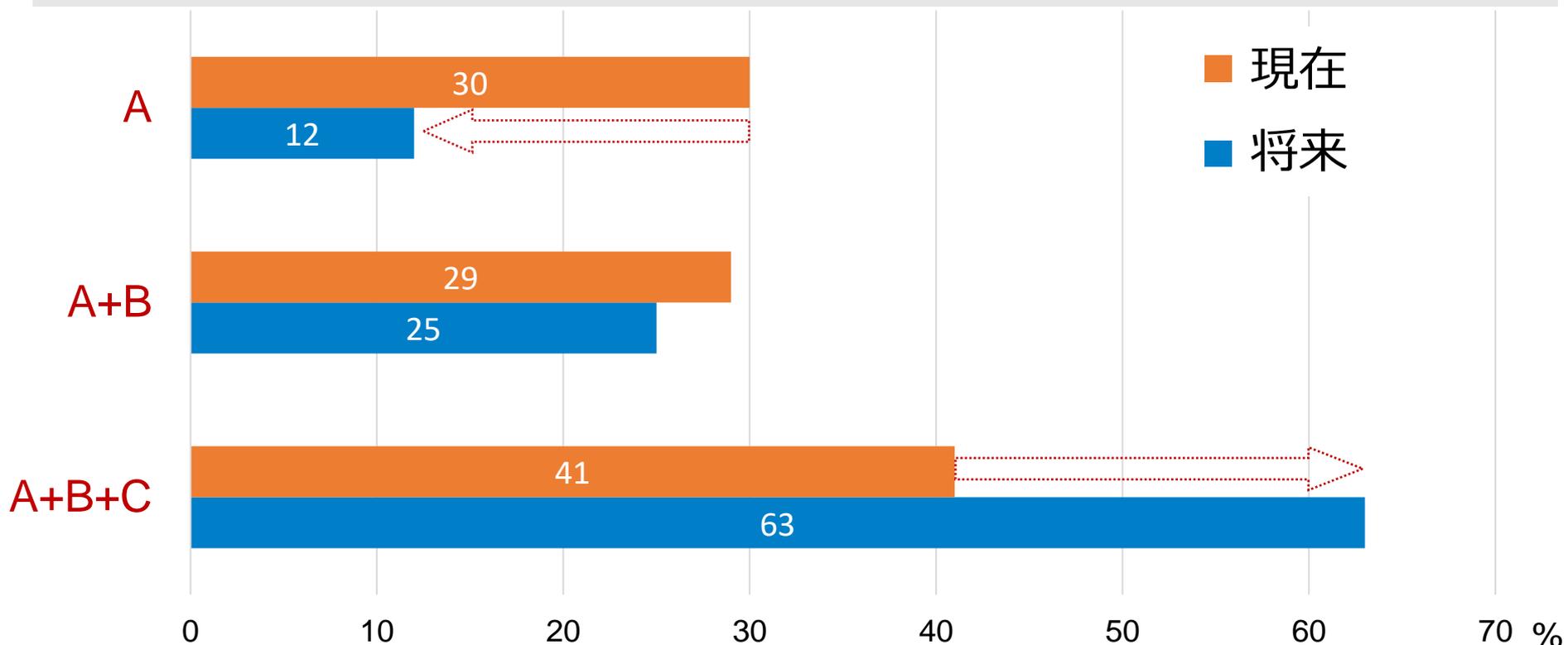
責任投資の2つのアプローチ：Future Taker と Future Maker



責任投資の進化：PRIによる投資家向けアンケート調査

あなたの組織にとって、責任投資とは、

- A. ESGリスクの管理 〔ESG情報を用い、ポートフォリオのリスクを評価し、エクスポージャーを調整〕
- B. サステナビリティ・アウトカムの特特定 〔SDGsとの関連性の観点からポートフォリオをレビュー。またはTCFDに沿った温室効果ガス排出量の追跡と開示を行う〕
- C. サステナビリティ・アウトカムに対する行動 〔資産配分やスチュワードシップ活動を通して、特定のSDGsと紐づいたアウトカム形成を目指す〕



System-level riskとActive Ownership 2.0

- SDGs達成進捗かなりの遅れ⇒システムリスクの高まり
- ESGはalphaの源泉？
- Moving beyond Modern Portfolio Theory: Beta activism

英国スチュワードシップ・コード 2020【原則4】

署名機関は、十分に機能する金融システムを促進するために、**市場規模のリスク及びシステムリスク**を認識し、それに対応する。

投資先との対話の深化

サステナビリティ課題	PRI 協働エンゲージメント	設立年
気候変動	Climate Action 100+	2017年
人権	Advance	2022年
自然資本・生物多様性	Spring	2023年
対政府（ソブリン）	オーストラリア（パイロット）	2022年

Progression Pathways Framework

